

人を大切に、
新しい技術を
創造し、地域と
ともに成長する

Decom.Tech

東双みらいテクノロジー株式会社

CORPORATE PROFILE

みらいのために、 未知の領域に挑戦する。

燃料デブリ取り出しは、世界中のどこにも知見がなく、
詳細が分かっていない厳しい環境下で、
廃炉を完遂するのがミッション・・・
つまりは、未知の惑星探査に匹敵するチャレンジ!

東双みらいテクノロジーは未踏の地へ進み始めています。
これから挑む未知の領域に臆することなく、
挑戦するフロンティアスピリットを持った人、
現状の自分に満足せず、常にスキルアップを目指す人、
そして、失敗にめげず、それを糧にして粘り強く改善を続ける人
を求めています。



Safely and Reliably

安全に、着実に、遂行。

代表取締役社長 **石川真澄**

**廃炉の最大難関である“燃料デブリ取り出し”の
貫徹を目指してまいります。**

東京電力ホールディングス株式会社「以下、東京電力」と株式会社IHI「以下、IHI」は、福島第一原子力発電所の燃料デブリ取り出しにおける、取り出し規模の更なる拡大に向けたシステム・設備の基本設計および研究開発を担う共同事業体として「東双みらいテクノロジー株式会社」以下「Decom.Tech(デコミ テック)」を2022年10月3日に設立いたしました。

私自身、福島第一原子力発電所での勤務中に東日本大震災に遭遇しており、初期対応から今日に至るまで廃炉一筋に取り組んでまいりました。廃炉の完遂と福島復興への責任も痛感しております。これまでの経験を存分に活かし、Decom.Techを通じて廃炉の本丸である「燃料デブリ取り出し」を安全かつ着実に遂行し、長期にわたる廃炉の貫徹を目指してまいります。

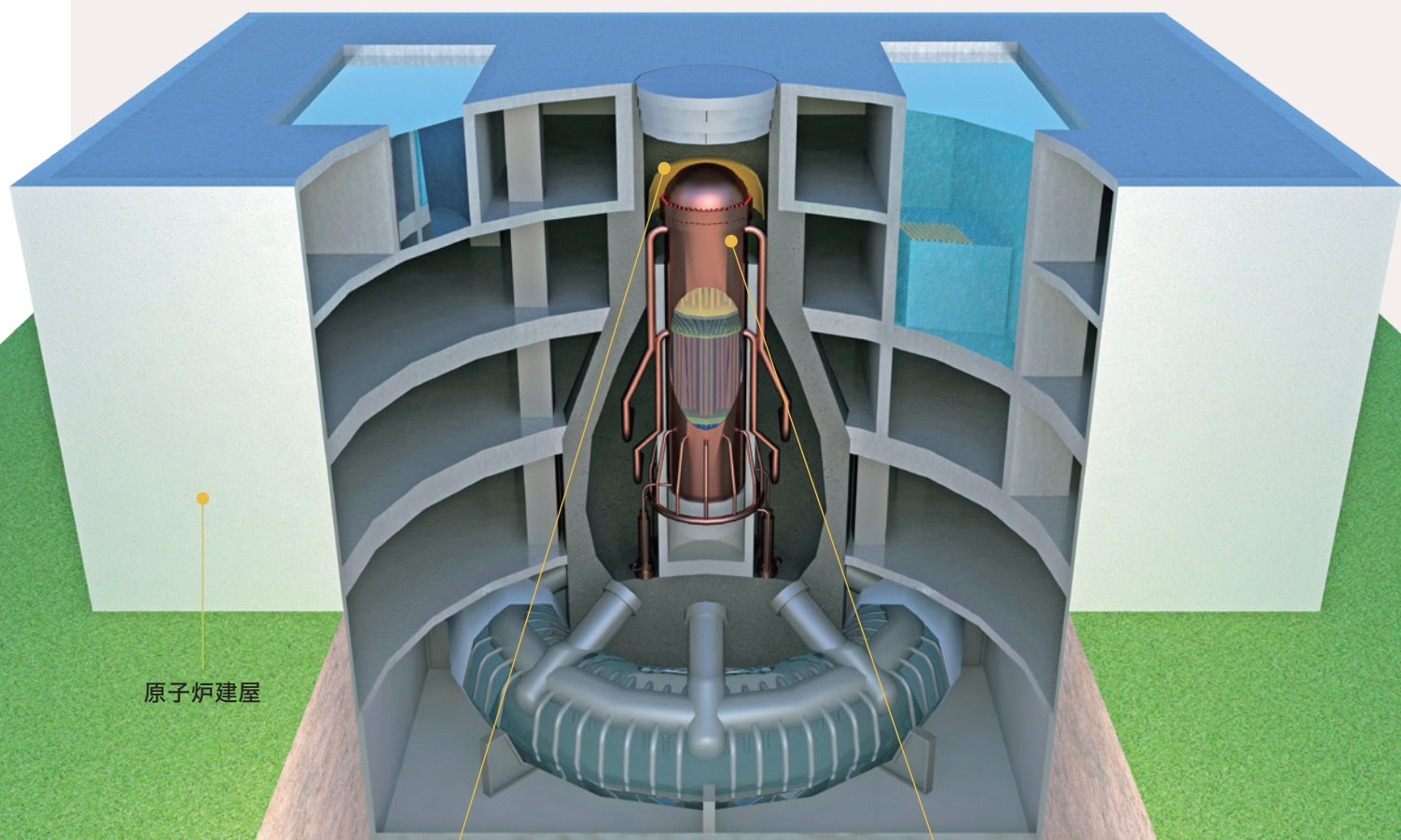


Decom.Techいざ、出航!



当社の挑戦と取り組み

福島第一原子力発電所の1～3号機では、東北地方太平洋沖地震に伴う津波の襲来によって電源設備が浸水し、冷却機能を失ったことで炉心部の燃料が溶融・落下しました。Decom.Techは安全かつ着実に廃炉の貫徹を目指しています。



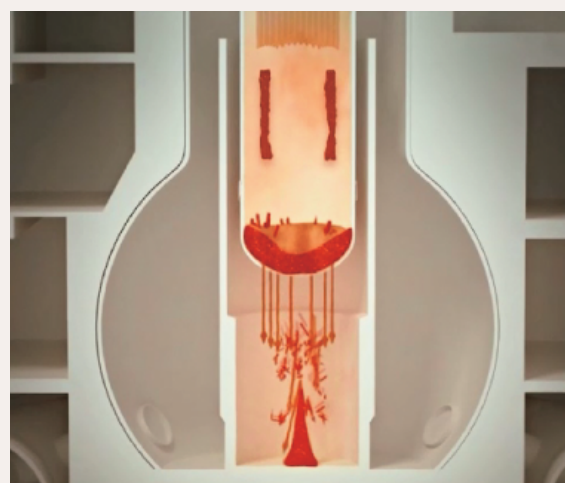
原子炉建屋

原子炉格納容器

原子炉圧力容器

1 燃料デブリ取り出し

燃料デブリ取り出しとは、原子炉圧力容器の炉心部から溶け出した燃料や溶融、損傷した構造物等を取り出し、安全に保管することを言います。



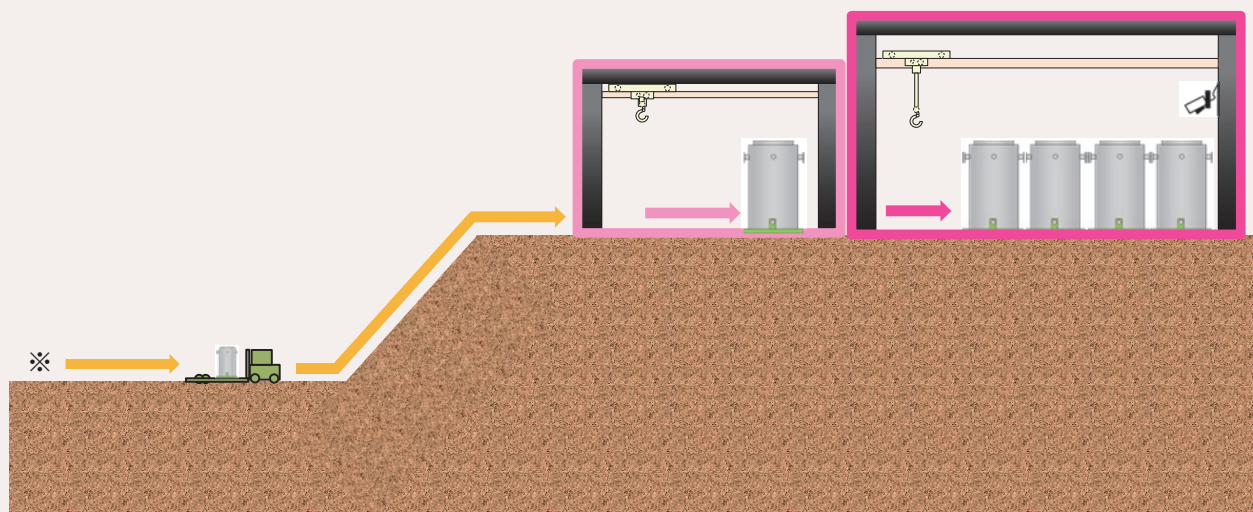
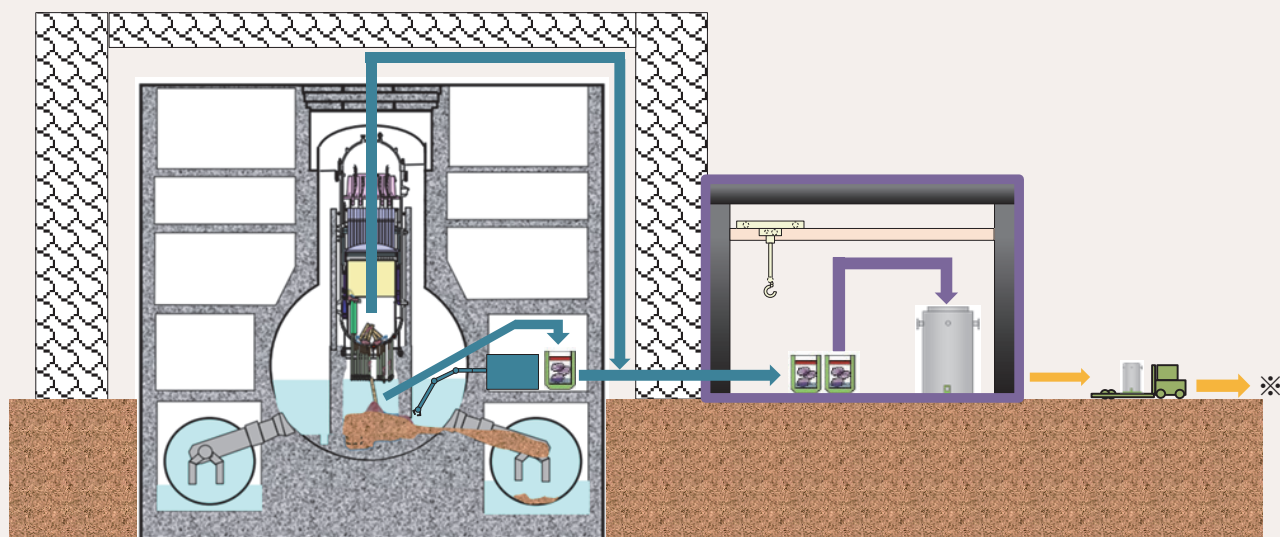
イメージ図

2 当社の事業内容

燃料デブリの取り出しでは、概ね下図フローにより燃料デブリの取り出し～安定保管を目指しています。

当社が主に取り組むのは、

- 燃料デブリ取り出しに関わるシステム・装置等の基本設計
- 燃料デブリ取り出しに必要な研究・開発
- 燃料デブリ取り出しをやり遂げるのに必要な人財育成

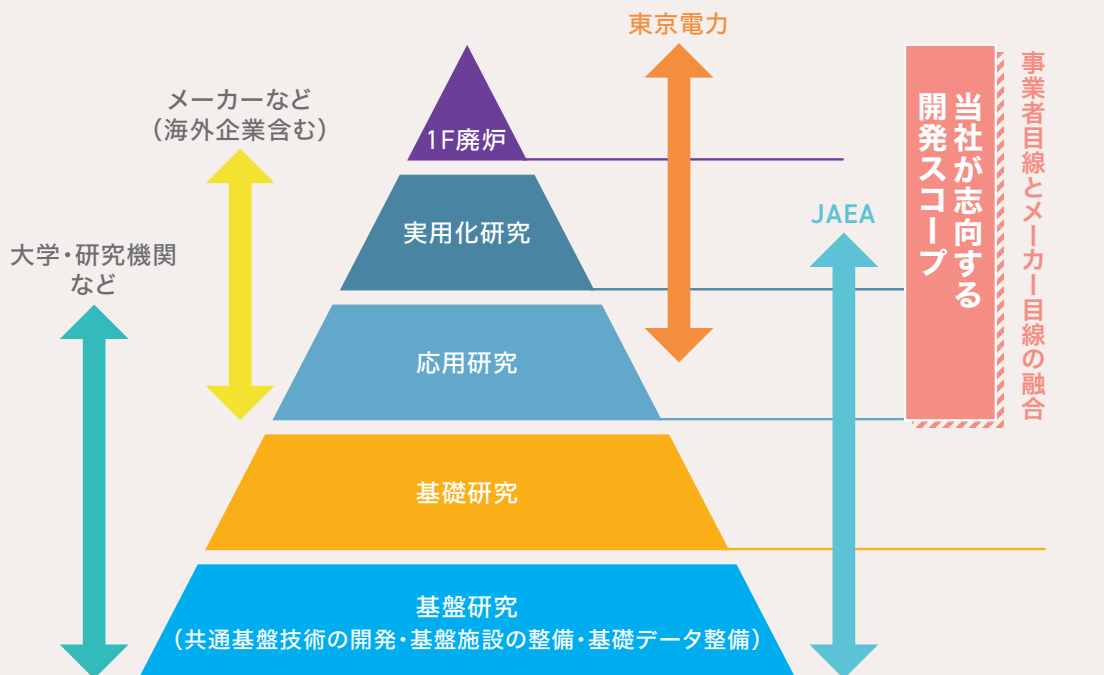


【燃料デブリ取り出し全体イメージ(当社事業の取り組み範囲)】

3 燃料デブリ取り出しにおける当社の位置づけ

当社は、東京電力グループの一員として、福島第一原子力発電所の廃炉を遂行する事業者の目線と、廃炉の遂行に必要となる技術、装置を開発するメーカー目線を融合させることで、現場ニーズに寄り添った研究開発を目指します。

また、大学、研究機関等による基礎研究との連携、橋渡しを図っていきます。



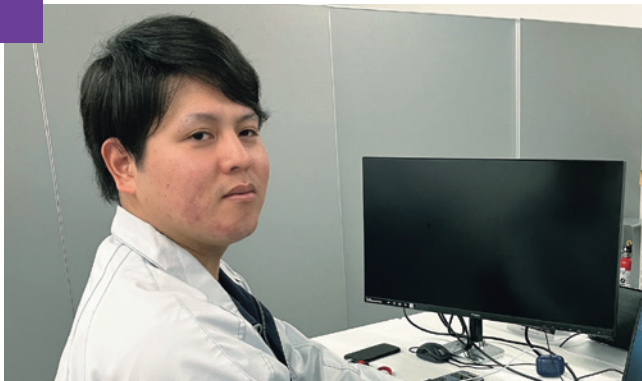
【廃炉研究開発の研究範囲と実施機関】

図の引用元：東京電力ホールディングス株福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン 2023、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）

2023年度より東京事務所を開設し、政府機関^{*}、アカデミア（大学、原子力機構殿、電中研殿等）、ベンチャー企業等の関係箇所との連携強化を図っています。



^{*}原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）



東双みらいテクノロジー株式会社
基本設計部 機械・電気設計グループ

西村 陸さん

(福島本社勤務)

若手にもチャンスがある環境
強いやりがいを感じています。

現在取り組んでいる業務について

弊社は福島第一原子力発電所(1F)における、燃料デブリの取り出しに関する概念検討および廃炉に関する研究・開発を行っています。私は廃炉に関する研究・開発の内、「原子炉圧力容器(RPV)内部調査技術の開発」を担当しています。

事故後のRPV内部は非常に高線量であり、誰も入ったことも見たこともありません。私はこのような極限環境や不確定要素が多い場面で使用される遠隔ロボットの設計・開発を行い、RPV内部調査の早期実現に取り組んでいます。

仕事のやりがいについて

弊社は設立して1年半程度の若い会社でありようやく業務が軌道に乗じた段階です。私の担当業務も開始から間もない段階であり、今後、業務の完成に向け開発成果を形にすることで達成感を得られると期待しています。ただ、仕事のやりがいは現在でも十分にあります。1Fの廃炉事業は30~40年にもおよぶ大規模かつ非常に難易度の高いプロジェクトです。そのプロジェクトに最前線で携わり、若手であっても担当者に業務を任せられる会社であるため、とても強いやりがいを感じています。

執務環境(職場の雰囲気・人間関係)について

私は福島本社で日常業務を行っています。職場雰囲気は活気があり会話や対話を大切にしていると感じています。チームで仕事を進める以上会話や対話は当たり前のことではありますが、このような雰囲気作りは一朝一夕ではできません。声を掛け、話を聞いてくれる上司や先輩がいるからこそ、若手が主体的に意見や質問をしやすく、そのような雰囲気が醸成されたと感じます。そして会話や対話を大切にするとお互いの信頼が生まれるからこそ若手にも業務を任せられる環境であると感じます。

もちろん仕事のみではなく休日も充実しています。私は職場の先輩たちと過ごすことが多いのですが、夏はサーフィンやキャンプ、冬にはスノボなど福島県に来てから人生で初めて経験をし、日常生活を楽しみつつ日々の業務の活力にしています。



東双みらいテクノロジー株式会社
基本設計部 安全システム設計グループ

南波 和希さん

(東京事務所勤務)

頼もしい先輩方ばかり
技術者として学ぶには最高の環境。

現在取り組んでいる業務について

私が主に取り組んでいるのは、取り出した後の燃料デブリを容器に収納し、移送し、保管する技術に関する研究開発及び設計業務です。特に、燃料デブリの保管費用をトータルで安く抑えつつ、安全・確実にデブリを保管可能な容器を設計することが重要なミッションです。現在は、これから具体化していく燃料デブリの取り出しに向け、内部調査や取り出した燃料デブリからどのような情報が分かれば保管容器やその関連設備を合理化できるのかについて検討しています。

仕事のやりがいについて

廃炉費用は基本的に、皆さまのご家庭の電気料金から賅っており、私たち現場の人間が、いかに無駄遣いをせず合理的なものを設計できるかがとても重要だと私は考えています。

頭の中で考えていることを仕事の仲間と共有し、同じ方向を向いて仕事を進めるにあたって、人と人とのコミュニケーションが一番大切だと私は考えています。

自分の思いを伝え、理解してもらい、それが相手から行動として返ってきたときに、達成感ややりがいを感じます。

執務環境(職場の雰囲気・人間関係)について

私たちの会社は電力事業者(東京電力)とプラントメーカー(IHIや日立、東芝、三菱重工等)の出身者が大部分が構成されており、色々な経験や技術を持った方々がいます。

社員の方々はみな優しく、大変頼もしい方々です。

私はその中で設計のノウハウやプロジェクトの管理等、様々なことを学ぶ立場であり、技術者として学ぶにはこの上ない環境だと思っています。私もそのような頼られる側の一員に早くなりたく日々思っています。

また、時には休日にBBQやキャンプ等、社員同士の親睦を深める企画を催すこともあります。

ある先輩社員が作った激辛アヒージョは今でも良い思い出で、そういった休日の息抜きも含めて非常に良い雰囲気の会社だと思っています。

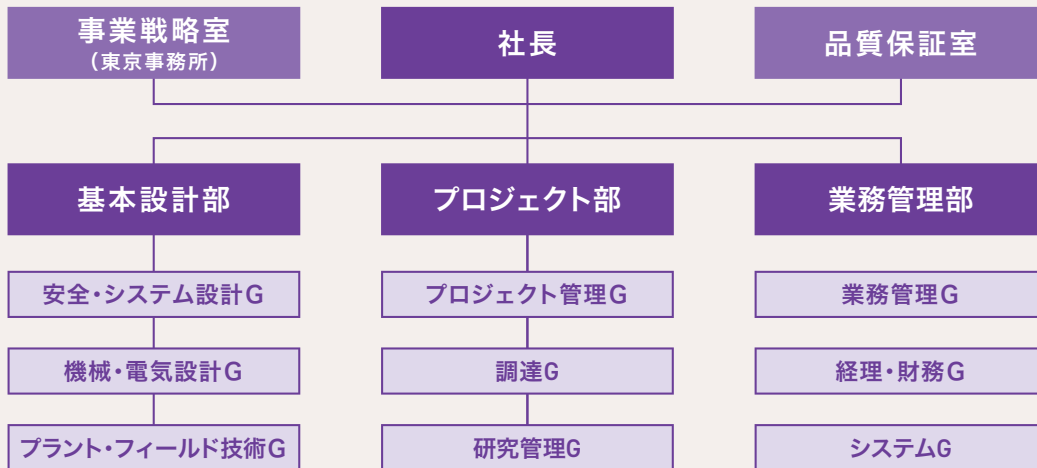
会社概要

本社所在地	福島第一原子力発電所 企業棟
設立	2022年10月3日
従業員数	59名 ※幅広い年齢層 20代～60代
出向元社	東京電力 33名、IHI 18名、その他 5名、転籍 3名
主要拠点	福島本社(福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22) 東京事務所(東京都港区南青山3-3-3 リビエラ南青山ビルA館 WORKING PARK EN 304)
株主	東京電力HD(75%)、IHI(25%)
株式公開	非上場/非公開
決算期	2023年3月
売上高	471百万円
経常利益	54百万円
企業URL	https://www.decomtech.co.jp/

事業内容

- 燃料デブリ取り出しに関するシステム・設備の基本設計事業
- 燃料デブリ取り出しに関する研究開発事業
- 燃料デブリ取り出しに関する人材育成

組織図



社名“東双みらいテクノロジー”に込めた思い

東双	東京電力グループとして廃炉をやり遂げるということ、福島県双葉郡地域との共存共栄を目指すという意味
みらい	この会社を通じて未来を切り開き、希望につなげるという思い
テクノロジー	株式会社IHIとの共同により技術で難題を解決する会社になること、廃炉技術で世界をリードするというチャレンジスピリット

Decom.Tech

東双みらいテクノロジー株式会社

詳しいお問い合わせはこちらから

<https://www.decomtech.co.jp/>

